

## 今の自分これからの成長 4年生

東京学芸大学附属世田谷小学校 養護教諭

### 1. 授業のねらい

4年生も後半に入り、子どもたちは心身ともに大きく成長している。二次性徴の発現はまだあまり目立たないが、性についての情報に興味を持ったり、異性が気になり互いに意識し始める時期にある。そのような時期にある子どもたちが、今までの成長を振り返り、これからの自分の成長を展望することは、自分自身を大切にする心情を高めるために大変重要なことである。

### 2. 子どもたちの学びの歩み

### 3. 教材について

- シルエットのパネル 将来の子どもたちの姿を想起させる  
大人に近づいている自分であることを意識させる
- 興味あること、不安を口に出させる

## 展開計画

1	男の子ってなあに？女の子ってなあに？（ブックトークを中心にして） あらためて性について問いかける。「自分は女の子（男の子）」とあたりまえと思っている自分について、まわりの人や家族、人の生き方についても思いをめぐらせることができるように。
2	今の自分～10歳って？から 生まれてから10年間、大人に近づいている自分に気づく。 心やからだの変化を肯定的に受けとめることができる。
3	これからの成長～大人に近づくからだから 命を生み育てつないでいく存在として、自分もだんだん大人の女性、男性に成長していく。 二次性徴のしくみについて理解する。

指導案1

	子どもの学習過程 ●主な発問と◎気づき	目標に近づくための★教師の手だて◇評価の観点▲留意点	関連性を高める手だて
I 今 の 自 分	<p>〔目標〕 今の自分について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・からだや心は年齢に伴って発育する。</li> <li>・二次性徴のしくみについて理解する。</li> <li>・二次性徴のしかたには男女差や個人差があることを理解する。</li> </ul> <p>●クイズ1 入学した頃のマコトとカオル。どっちがどっち？どうして？</p> <p>●クイズ2 10歳の2人。今度はわかる？ ◎右 ◎左 ◎わかんないよ</p> <p>●クイズ3 20歳ではどうかな？ ◎20歳はすぐわかる ◎前をみたらもっとわかる ◎胸が大きくなる ◎肩幅が…</p> <p>●子どもから大人に成長していく過程にあらわれるからだの性的な特徴を「二次性徴」といいます。 ●二次性徴があらわれてくる時期を「思春期」といいます。 ◎いつ頃？ ◎はずかしいよ ◎誰もがそうなるんだよ ◎成長の印だから気にしない</p> <p>●変わってくるのは、外見だけじゃない 「心」はどうか？からだの中身はどうか？ ◎内臓も？ ◎生理… ◎射精…</p> <p>●マコトは女の子、カオルは男の子、あなたは…。私は女性、○○先生は男性、「性」という字の意味は、人間には女と男2種類あるということです。 ●あなたたちは、これから女性へと、男性へと成長していく途中にある人たちです。 ●「性」というのは、人間には男性と女性の二種類があるということ。それぞれが命をつくりつないでいく存在ということです。 あなたたちのからだの変化は命をつなぐという意味を持っているのです。</p> <p>●学習感想を書く</p>	<p>★シルエットパネル(6歳) 「6歳のマコトとカオルのシルエット、どっちがどっち？どうしてそう思う？」</p> <p>★シルエットパネル(10歳)掲示 「10歳のマコトとカオル、どっちが男の子？女の子？」</p> <p>★シルエットパネル(20歳)掲示 「20歳になった2人ではどうかな？」 ▲子どもの発言を板書していく ★「どうして大人になるの？」 ★「どうして男と女がいるの？」 ◇キーワード: 赤ちゃん、生命、結婚 ◇特徴: 女子 胸がふくらむ からだが丸みをおびる</p>	<p>板書 ○「今までの成長、これからのわたし」</p> <p>▲一次性徴についても簡単に触れる ○男・女の違いについて分けて板書する</p> <p>○</p>